

市長定例記者会見資料



令和元年 7月18日	
所 属	生活安全課
所属長	木下 禎章
電 話	06-6489-6502

電話でお金の話はゲンキン！ 特殊詐欺対策を実施します

1 趣旨

平成 30 年の本市における特殊詐欺被害状況は、認知件数 118 件で被害総額が約 1 億 8,000 万円と、兵庫県下で神戸市に次いで 2 番目に多く、前年と比較し認知件数が約 40%も増加していたため、特殊詐欺被害が新たな課題となっているところです。

特殊詐欺の中でも、固定電話を介して行なわれる「オレオレ詐欺」「還付金等詐欺」の被害の防止に向けて、被害に遭いやすい高齢者を中心に、通話開始前に会話を録音する旨の警告を自動で流す自動警告機能付詐欺防止通話録音機の貸し出しや、手形 P O P を固定電話の受話器部分に貼り付けるといった直接的な対策を実施します。

2 実施内容

(1) 自動警告機能付詐欺防止通話録音機の貸出事業

通話開始前に、「この電話は振り込め詐欺等の犯罪被害防止のため、会話内容が自動録音されます」といった警告を流す自動警告機能付詐欺防止通話録音機の貸し出しを実施します。

貸出しにあたっては、市内 3 警察署と連携し、他都市で見られるような公募を実施して借りたい方に貸し出すのではなく、実際に特殊詐欺の電話がかかってきていると相談のあった方に、一定期間貸し出し、効率的効果的な運用を行い被害の未然防止を図ります。

▼実施時期

7月1日から

▼対象者

特殊詐欺被害の相談を現に警察へ行っている人

▼貸出台数及び貸出期間

60 台（各署 20 台ずつ）を一定期間の貸出

(2) 手形 P O P による啓発事業

電話中に「詐欺かもしれない。」と気付けるよう、特殊詐欺で使われやすいキーワードを記載した手形 P O P 3,000 枚を福祉部局と連携して家庭の固定電話の受話器部分に直接貼り付けし、被害の未然防止を図ります。



▼実施時期

7月18日から

▼対象者

単身世帯の高齢者など

▼連携内容

地域の高齢者と関わりのあるケアマネジャーが、日々の業務のなかで高齢者宅に訪問する際、本POPを直接、固定電話の受話器部分に貼り付けていただきます。



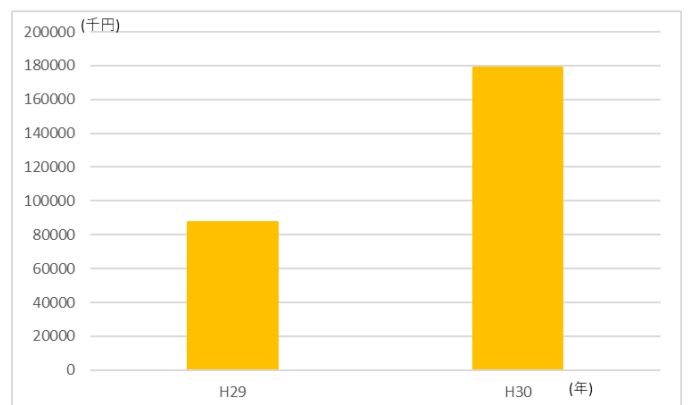
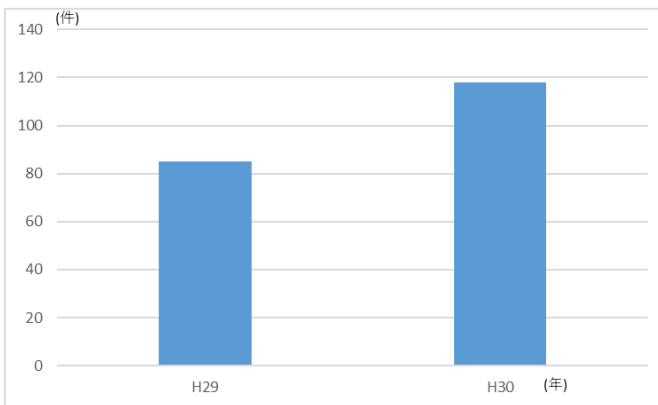
3 今後の展開について

通話録音機の返却時や手形POPを設置して一定期間経過したのち、アンケートを実施することで、効果測定し、事業の改善を含め検討していく。

<参考>平成29年及び平成30年の市内特殊詐欺認知件数及び被害額

	平成29年	平成30年
認知件数(件)	85	118

	平成29年	平成30年
被害額(円)	約8,800万	約1億8,000万



<参考>特殊詐欺対策取組イメージ

